

明るい船橋民主市政の会 藪内好（たかし）さんが駅頭で訴え

「明るい会」から市長選挙に挑戦する藪内好（たかし）さん。
5月19日・JR船橋駅北口



船橋市では6月11日告示～18日投票で市長選挙が行われます。

市内の労働組合や市民団体、政党では日本共産党も加わっている「明るい船橋民主市政の会」（明るい会）から「藪内好さん」（「好」の一文字で「たかし」と読みます）が挑戦することになり、5月17日、記者会見を行いました。「船橋が抱える3つの課題にチャレンジ」として「子育てと教育最優先」「歩いて暮らせる街づくり」「防災対策の充実で命を守る」を掲げ、無謀な開発と一体の「メディカルタウン構想」は財政のムダ遣いにつながると批判。いまある市民の財産（公共施設）を有効に生かす市政をと呼びかけています。

藪内さんは、船橋市内の市立中学校で36年間、美術の先生を勤めてきました。千葉大学教育学部の講師も10年間やってきました。5月19日のJR船橋駅での訴えでも、偶然、教え子の男性が通りかかり、「あっ、藪内先生ですか？」と声をかけてきました。藪内さんは「なんだ、お前か。久しぶりだなあ。元気そうじゃないか」と返し、話が弾んでいました。

薬園台駅にエレベーター設置を 利用者の会と日本共産党支部が要請

新京成本社に要請する利用者（左）と日本共産党支部の代表（右）
5月19日・新京成本社



薬園台駅は西側にエスカレーターがあるだけで、東側の階段には何もないため、住民から「わざわざ向う側に行くのはつらい。東側にエレベーターをつけてほしい」との声が出されています。



エレベーターもエスカレーターもない薬園台駅東側入口。
5月19日・薬園台駅

幕張新都心に新駅設置の動き 予定地の状況を視察しました

幕張新都心の新駅設置予定地を視察する丸山慎一議員（左）
5月12日・千葉市美浜区



新駅設置予定地付近の現在の様子。写真の正面あたりが駅舎予定場所。
5月12日・千葉市美浜区



5月12日、幕張新都心を走っている京葉線のイオンモール前に設置の動きがある新駅予定地を視察しました。駅舎建設は130億円、工期6年、自由

通路は50億円で工期7年とされています。どこが負担するのは未定です。自由通路は利用者数の推計や住民の意向調査などはまったくやられておらず、設置すること自体に疑問が生じています。

視察では、自由通路のイオンモールと反対側も行きました。反対側には事務所や企業がなく、周辺もマンションがいくつ立っているだけ。人口も300人程度しかいないため、とても利用者がたくさんいるとは思えません。

性同一性障害の大野さんと LGBTなどについて懇談しました

性同一性障害をカミングアウトした大野さん（左）と丸山議員
5月9日・県議会棟内



性同一性障害をカミングアウトした大野雅明さんと懇談しました。人は、「体」の性が男性なら「心」の性も男性で、好きになる相手は女性というのが多数です。

しかし、「体」の性は男性なのに「心」の性が女性だったり、「体」と「心」の性は男性なのに、男性を好きになる人もいます。こうした人たちは家族の中でも社会との関係でも、偏見や差別などで想像を超えた苦労や悩みを抱えています。

懇談した大野さんは、「体」の性は男性ですが、「心」の性は女性で、「心」に合わせて体を手術することを望んでいます。「トイレに入るときが一番困る。男の世界にも入れないし、女の世界にも入れない」「各種申請書の性別記入欄を書くのはつらい。必要ないものは無くしてほしい」と話していました。

いま一人一人の個性を尊重し、差別や偏見を克服していこうという運動が大きく広がって来ています。性的マイノリティーが、個人として尊重され幸せを求めることができる社会に変えていこうと開かれた「東京レインボープライド2017」には延べ10万5000人が参加しており、希望が広がっています。